

(原著論文：症例報告を含む)

Watanabe N, Kobayashi T, Iwaki M, Nogami A, Wada N, Shimizu A, Komori T, Koike H, Sahashi Y, Nakajima A, Yoneda M : Prior Immune Checkpoint Inhibitor Treatment Is a Risk Factor for Treatment-Related Adverse Events in Unresectable Hepatocellular Carcinoma Treated With Durvalumab Plus Tremelimumab. JGH Open, **9** (4) : e70163, 2025.

Takechi K, Kawashiri T, Mine K, Ushio S, Hamano H, Hida N, Momo K, Uchiyama M, Uchida M, Tanaka M, Hidaka N, Yasui H, Ueda M, Fujii R, Hashimoto M, Sakamoto Y, Uyama K, Niimura T, Hanai Y, Tsuboya A, Suzuki K, Kamiyama N, Hagiwara H, Okada N, Zamami Y, Ishizawa K : Effectiveness of Statins for Oxaliplatin-Induced Peripheral Neuropathy: A Multicenter Retrospective Observational Study. Clin Transl Sci, **18** (10) : e70318, 2025.

Koike H, Taguchi M, Koide A, Yamada H : Impact of a local formulary on prescribing patterns and pharmaceutical expenditure: an observational study in Japan. J Pharm Health Care Sci, **11** (1) : 114, 2025.

坂本靖宜, 小泉宏史, 清水絢子, 川邊一寛, 重村明香, 吉友葵, 長谷川拓也, 宇山佳奈, 畠山成寛, 安島秀友, 井出和男, 若杉正, 小池博文, 佐橋幸子: がん薬物療法においてバイオシミラー導入が同効薬の使用量および医薬品費に与える影響. 癌と化学療法, **52** (9) : 671-676, 2025.

(総 説)

後藤洋仁: 日経 DI クイズ 1 日 1 回服用で済むエパデール. 日経ドラッグインフォメーション, **1**: 41-42, 2025.

後藤洋仁: 日経 DI クイズ ルムジェブが食事開始後でも投与可能な理由. 日経ドラッグインフォメーション, **2**: 35-36, 2025.

後藤洋仁: 日経 DI クイズ 治験参加中の患者がかぜで来局したら. 日経ドラッグインフォメーション, **4**: 39-40, 2025.

小池博文: 本と動画で現場の常識を学ぶ デキる薬剤師をつくる現場の教科書 Next 知らないと困る“常識”を学んで即戦力に! 日常業務の常識 2 医薬品供給問題. 調剤と情報, **31**: 916-919.

後藤洋仁: 日経 DI クイズ アーリーダ服用に伴う皮疹への対策. 日経ドラッグインフォメーション, **5**: 19-20, 2025.

後藤洋仁: 日経 DI クイズ NSAIDs に追記された心筋梗塞の副作用. 日経ドラッグインフォメーション, **6**: 37-38, 2025.

後藤洋仁：日経 DI クイズ 腎機能低下患者に処方されたツイミグ．日経ドラッグインフォメーション，**9**：33-34，2025.

小池博文：GE・BS 採用の考え方と実際～病院薬剤師の視点から～．月間 Pharm Stage，**24**：49-55，2025.

(著 書)

太田一郎，坂本靖宜，清水絢子：研修医・総合診療医のためのがん化学療法ファーストタッチ．じほう，2025.

小池博文：薬剤師のための病院経営の教科書：医療経済と診療報酬の基礎から実践まで．ロギカ書房，2025.

(学会等発表)

後藤洋仁，田野島玲大，福田多実子，泉久保亜希，山本哲哉：臨床研究における研究者資格の標準化に向けた教育・研修の実態調査．日本臨床試験学会第 16 回学術集会総会，横浜，2025，2.

渡邊倫，坂本靖宜，重村明香，長谷川拓也，宇山佳奈，小泉宏史，清水絢子，西垣哲太，小池博文，佐橋幸子：アンスラサイクリン系抗がん薬によるがん治療関連心血管毒性の治療前リスクの現状調査．第 14 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会，横浜，2025，3.

坂本靖宜，宇山佳奈，清水絢子，重村明香，長谷川拓也，長井絵里奈，小泉宏史，山本幸二郎，内田寿恵，太田一郎，小森智也，井出和男，若杉正，小池博文，佐橋幸子：注射がん化学療法における投与 2 回目の全患者を対象としたチーム体制の診察前面談（薬剤師外来）の取り組みとその評価．第 14 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会，横浜，2025，3.

重村明香，坂本靖宜，長谷川拓也，吉友葵，宇山佳奈，小泉宏史，清水絢子，安島秀友，井出和男，小池博文，佐橋幸子：注射抗悪性腫瘍薬調整時の溶解後温度条件・遮光条件と希釈後最終濃度に関する医薬品情報の実態調査．第 14 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会，横浜，2025，3.

坂本靖宜，重村明香，清水絢子，中山知，小林悠，長谷川拓也，宇山佳奈，太田一郎，井出和男，畑千秋，小池博文，堀田信之，佐橋幸子：薬剤師による診察前面談が看護師業務と外来化学療法に与える影響（看護師対象アンケート調査）．第 17 回日本がん薬剤学会，鹿児島，2025，6.

小池博文，田口真穂，小出彰宏，山田博章：地域フォーミュラリが医薬品費抑制に及ぼす調査・研究．医療薬学フォーラム 2025，旭川，2025，6.

若杉正，吉友葵，安島秀友，畠山成寛，山本幸二郎，横山千紘，小池博文，佐橋幸子：疑義照会簡素化プロトコルを契機とした用法適正化に向けた取り組み．第 27 回日本医薬品情報学会，広島，2025，7.

小山実央，鈴木智代，渡邊直優，井出和男，加藤英明：Corynebacterium 菌血症患者の疾患背景の解

析. 第 72 回日本化学療法学会東日本支部総会, 新潟, 2025, 9.

滝澤麻未, 小井土啓一, 水島淳裕, 井出和男, 堀内弘司, 加藤英明: 血糖コントロールで血液培養の陰性化が期待されたトリコスポロン菌血症の 1 例. 第 72 回日本化学療法学会東日本支部総会, 新潟, 2025, 9.

坂本靖宜, 重村明香, 井出和男, 渡邊直優, 鈴木智代, 五十嵐裕貴, 榎木裕紀, 加藤英明, 松元一明: 造血器腫瘍患者におけるバンコマイシン薬物動態モデル別の予測性の検討. 第 72 回日本化学療法学会東日本支部総会, 新潟, 2025, 9.

渡邊直優, 井出和男, 鈴木智代, 畠山成寛, 加藤英明: 臨床的診断による後天性眼トキソプラズマ脈絡膜症、トキソプラズマ脳症の一例と治療選択に関する考察. 第 72 回日本化学療法学会東日本支部総会, 新潟, 2025, 9.

井出和男, 川邊桂, 小池博文: 抗インフルエンザ薬の病院フォーミュラリ導入による処方状況調査. 第 4 回日本フォーミュラリ学会学術総会, 横浜, 2025, 11.

西垣哲太, 渡邊倫, 井出和男, 小池博文, 佐橋幸子: 病院実務実習における心電図教育の実践報告. 第 71 回日本不整脈心電学会学術大会, 横浜, 2025, 11.

長井絵里奈, 小森智也, 小池博文, 吉富誠弘, 池田順治, 竹内正宣, 辻本信一, 佐橋幸子: 精密型携帯輸液ポンプを用いたブリナツモマブの在宅投与が QOL に与える影響の調査. 第 67 回日本小児血液・がん学会学術集会, 福岡, 2025, 11.

井出和男, 渡邊直優, 片桐彩乃, 小山実央, 小池博文, 佐橋幸子: 感染症治療における薬学的介入についてのアンケート調査. 第 35 回日本医療薬学会年会, 神戸, 2025, 11.

後藤洋仁, 小森智也, 松井周一, 小池博文, 佐橋幸子: 実務実習生を対象とした病院実習における医薬品開発教育に関するアンケート調査. 第 35 回日本医療薬学会年会, 神戸, 2025, 11.

小山実央, 安島秀友, 小森智也, 小池博文, 佐橋幸子: エスシタロプラムによる QT 延長の重篤化回避に薬剤師が介入した一例. 第 35 回日本医療薬学会年会, 神戸, 2025, 11.

坂本靖宜, 小林悠, 重村明香, 宇山佳奈, 服部有希, 清水絢子, 井出和男, 小池博文, 佐橋幸子: 前立腺がんドセタキセル療法における発熱性好中球減少症の発症率とリスク因子. 第 35 回日本医療薬学会年会, 神戸, 2025, 11.

渡邊倫, 吉友葵, 安島秀友, 山本幸二郎, 飯野祐子, 若杉正, 小池博文, 佐橋幸子: 骨粗鬆症治療薬における病院フォーミュラリ導入効果の検討. 第 35 回日本医療薬学会年会, 神戸, 2025, 11.

八木道直，畠山成寛，井出和男，鈴木智代，渡邊直優，坂本靖宜，佐野加代子，友山瑛人，川崎理加，加藤英明，小池博文，佐橋幸子：DASC を用いた抗菌薬使用状況調査及び緑膿菌の薬剤感受性調査．第 35 回日本医療薬学会年会，神戸，2025，11.

後藤洋仁，泉久保亜希，山本恵理，坂田佳子，柳田洋一：治験関連文書保存の実態と提出書式の分析．第 45 回日本臨床薬理学会学術総会，東京，2025，12.

（その他）

渡邊直優：C 型肝炎の最新薬物療法 2025. C 型肝炎市民講座（WEB 開催），2025，2.

後藤洋仁：IRB の未来を考えてみた．横浜臨床研究ネットワーク実務者会議（第 13 回），横浜，2025，2.

小池博文：地域フォーミュラの意義と実践～モデル・フォーミュラの活用と災害時医療の経験を通じて～．和歌山県病院薬剤師会研修会，和歌山，2025，2.

小池博文：地域フォーミュラの意義と実践～モデル・フォーミュラの活用と災害時医療の経験を通じて～．令和 6 年度第 3 回岐阜地区薬剤師合同研修会，岐阜，2025，2.

安島秀友：慢性便秘症治療薬の使用時に考慮したい医薬品情報．アミティーザ 12 μ g カプセル Special Tips 2025 in 東京，東京，2025，3.

小池博文：院内医薬品選定における薬剤部・薬剤師の存在意義～選定療養からフォーミュラ策定まで～．臨床薬学研究会，鹿児島，2025，3.

安島秀友：実務実習で求められる DI 教育を考える ～病院 DI 室の立場から～．令和 6 年度第 4 回 JASDI フォーラム薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂による今後の DI 教育のあるべき姿を考える（WEB 開催），2025，3.

安島秀友：医療現場における医薬品情報教育～職種に合わせた教育方法を考える～．第 27 回日本医薬品情報学会総会・学術大会，広島，2025，7.

後藤洋仁：IRB のリデザイン「Single IRB」が切り拓く新たな可能性、IRB 外部委託の経験を通じて得られた知見．第 13 回 DIA クリニカルオペレーション・モニタリングワークショップ，東京，2025，7.

坂本靖宜：造血幹細胞移植における薬剤師の役割～薬剤師でもできること・薬剤師だからこそできること～．造血幹細胞移植・免疫細胞療法講演会（WEB 開催），2025，7.

坂本靖宜：AML 治療における感染症リスクと対策：薬剤師の役割．薬剤師と共に考える新たな AML 治療戦略（WEB 開催），2025，7.

長井絵里奈：当院における小児 ALL 患者に対する薬剤師の介入～ブリナツモマブの在宅投与を中心に～. TCCSG 夏季セミナー（WEB 開催），2025，8.

小池博文：地域フォーミュラリとは？その必要性和薬局にもたらす効果について. 令和7年度フォーミュラリ推進研修会，愛知，2025，8.

安島秀友：不眠治療薬を取り扱う際に留意した医薬品情報. 令和7年度第5回横浜市薬剤師会学術研修会，横浜，2025，9.

小池博文：地域フォーミュラリとは？その必要性和地域にもたらす効果について. 鶴見区連携の会，横浜，2025，9.

後藤洋仁：治験審査委員会の役割（委員向け研修 2025）. みなと赤十字病院治験審査委員向け研修会，横浜，2025，9.

後藤洋仁：IRB に関するアンケート結果報告. 横浜臨床研究ネットワーク実務者会議，横浜，2025，9.
坂本靖宜：効果的な薬剤師外来の運用. 東京・神奈川・千葉がん薬剤師外来セミナー（WEB 開催），2025，9.

坂本靖宜：毒性マネジメントに関する薬剤師の介入. がん診療ステップアップセミナー，川崎，2025，10.

坂本靖宜：薬剤師外来開設に向けて乗り越えた3つの壁と今後の課題～抗がん剤治療の安全性向上と適正使用推進の内容を含めて～. CHUGAI Oncology Meeting2025，東京，2025，10.

後藤洋仁：日経 DI クイズ. 日経 DI カレッジ（WEB 開催），2025，10.

坂本靖宜：がん・ポリファーマシー～高齢がん患者の治療を病院薬剤師・薬局薬剤師で連携してサポート～. 老年薬学ワークショップ研修会（WEB 開催），2025，10.

長井絵里奈：精神障害がある方への関わり～服薬支援について～. 令和7年度医療・保険・衛生等研究会（WEB 開催），2025，10.

小池博文：バイオシミラーの理解・普及に向けた病院薬剤師の役割とは. 第79回国立病院総合医学会，金沢，2025，11.

坂本靖宜：高齢者機能評価の有用性. 2025年度老年腫瘍学ワークショップ（WEB 開催），2025，11.

後藤洋仁：脂質異常症の今昔. 2025年度第9回山口県病院薬剤師会学術集会（WEB 開催），2025，11.

後藤洋仁：IRB 外部委託の経験を通じて得られた知見. 第 28 回臨床研究・治験事務局アドバンスセミナー2025 (WEB 開催) , 2025, 11.

宇山佳奈：トレーシングレポートの書き方のポイント～皮膚障害編～. 外来がん化学療法の質向上の為に薬薬連携セミナー, 横浜, 2025, 11.

渡邊直優：AI によるグラム染色起因菌推定がもたらす抗菌薬適正使用支援の可能性. 化学療法学会地域セミナー, 群馬, 2025, 11.

坂本靖宜：薬剤師外来と医療安全～開設から運用、質向上への取り組み～. 東京都病院薬剤師会 医療安全研修会 (WEB 開催) , 2025, 11.

坂本靖宜：薬を知って上手に付き合おう. 令和 7 年度ウィリング横浜主催研修 専門力を高める (WEB 開催) , 2025, 11.

安島秀友：講義・課題中心からの脱却、実践を意識した医薬品情報実習を目指して～医薬品情報専門薬剤師の立場から～. 第 35 回日本医療薬学会, 神戸, 2025, 11.

小池博文：阪神淡路大震災と能登半島震災から考える地域フォーミュラリの有用性. 第 35 回日本医療薬学会, 神戸, 2025. 11.

小池博文：病院と地域をつなぐフォーミュラリを目指して～バイオシミラーの使用促進も含めて～. 川崎エリア講演会～地域フォーミュラリ～, 川崎, 2025, 12.

小池博文：薬剤師の力を結集して地域の医薬品集をつくろう～地域フォーミュラリと薬剤師の真価～. 第 58 回東海薬剤師学術大会, 愛知, 2025, 12.

小池博文：医薬品フォーミュラリの考え方と今後の方向性. 第 76 回臨床実例報告会シンポジウム (WEB 開催) , 2025, 12.

小池博文：地域フォーミュラリの方向性や学会での取り組み. 令和 7 年度茨城県地域フォーミュラリ研究会 (WEB 開催) , 2025, 12.

重村明香：造血器腫瘍患者における薬学的管理と最近の取り組み. FL 治療 UPDATE2025, 横浜 2025, 12.